

くにとみちょう 議会だより

No.206

令和7年8月1日発行

～皆さんの声を生かします～



「町議会議員
新体制」始動！

【6月定例会】

☆報告・補正予算・条例改正など 2ページ～

◆令和6年度一般会計繰越明許費の報告

◆令和7年度一般会計、国民健康保険特別会計の補正

◆特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正など

☆事業進捗レポート 宮崎西警察署(仮称)について..... 4ページ

☆8人の議員が一般質問（うち新人議員が3人） 5ページ～

【5月臨時会】

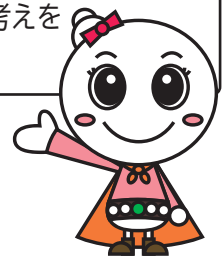
☆任期満了に伴い、新議員決定 15ページ～

飯盛公民館に空調設備 競争入札参加資格受付システム 契約管理システム 導入

田尻川水中ポンプ設置 に伴う用地取得費など

本定例会では、報告1件を受け、令和7年度補正予算2件及び条例改正2件の案件を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。

また、一般質問では、8人の議員（うち3人が新人議員）がそれぞれ町の考えを聴きました。



報告

◇令和6年度国富町一般会計繰越明許費の報告について

【主な事業】

- ▽物価高騰対応重点支援臨時特別給付金事業
- ▽一丁田ため池地震・豪雨耐性調査業務委託
- ▽向高須志田線法面補修工事など

【繰越額】

1億1533万3千円

議案

【補正予算】

◇令和7年度国富町一般会計補正予算（第1号）について

児童生徒用のタブレット端末更新において予算を組み替えて全て購入

【主な内容】

児童生徒用のタブレット端末更新について、当初予算のリース契約から、財源確保の見込みにより一括購入する予算への組替えを追加上。

また、国の採択を受け、

競争入札参加資格受付システムや契約管理システムの導入に係る経費を追加上。

【その他の制度事業】

▽一般財団法人自治総合センターの助成において、飯盛地区公民館の空調設備を整備することが決定。

【主な町単独事業】

▽田尻川付近の浸水被害軽減のための水中ポンプ設置に伴う用地取得費など。

▽令和9年度に本町で開催

の国スポフェンシング競技準備のための経費

【補正額】

1億3969万4千円

【予算規模】

104億2669万4千円

審議の経過（質疑応答）

【近藤智子議員】タブレット端末購入において、リース契約から一括購入に至った経緯は。

【三好教育総務課長】今年度から創設されたデジタル活用推進事業債により財源の確保が見込まれること、

また、一括購入の方が、リース契約に比べ約1000万円経済的であるということで、一括購入に変更した。

【武田幹夫議員】委託料の競争入札参加資格申請受付

システム導入業務委託料及び契約管理システム導入業務委託料について伺う。

【境田財政課長】これまで紙媒体で提出していた競争入札参加資格申請書を、今後はシステムを導入することにより、電子データで提出することを可能とするもの。事業者の負担の軽減を図ることと、国の事業採択を受けたということで導入に至った。

また、契約管理システムについては、受け付けた事業者の情報連携させて、今後の入札情報や参加資格情報を一括で管理するものである。

全員賛成

可決



「町の考えを問う」

「一般質問」とは…
議員が町の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質問して確かめること。【議員1人あたりの持ち時間は45分。】

〔一般質問〕 8議員が登壇（次ページ）

事業進捗 レポート

宮崎西警察署 (仮称)

石山和真議員が一般質問（7頁参照）した宮崎西警察署（仮称）に関連し、宮崎県警察本部から示されている基本構想の概要を報告します。

1 整備場所

- 所在地 「国富町運動公園」
- 面積 約7,900㎡
- 所有者 国富町

2 庁舎整備の基本的な考え方

- 警察庁舎として必要な機能の確保
- 警察庁舎としての基本的性能の確保



イメージ平面図

3 整備事業費

約65億8,000万円（うち工事費約55億5,000万円）

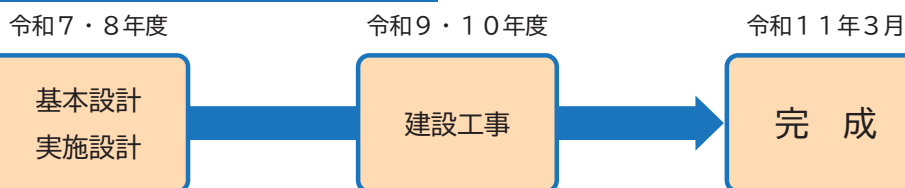


イメージ図

4 庁舎規模

種別	構造	階数	延床面積
本庁舎	鉄筋コンクリート造(RC)	5階	約5,700㎡
附属棟	鉄骨造(S)	2階	約2,300㎡

5 今後のスケジュール予定



今後、議会でも、進捗情報が入り次第、速やかにお伝えしていきます。

ふるさと納税について

Q 議員 町長は今年度ふるさと納税寄附額10億円を目指しているが、根拠を伺う。

A 町長 直近2年の寄附額実績が約6億で推移しており、まずは2桁の10億円台を目標にした。取組として主力商品の鳥の炭火焼やマンゴーなどを扱う事業者との協力体制強化やふるさと納税ポータルサイトの露出アップ、さらにSNSの活用や都市圏で開催されるイベント出展を拡充し、総合的に判断して寄附額10億円台の根拠とした。

Q 議員 町内には、スコップ、オーダースーツや家庭用サウナなどの優れた商品製造を行っている会社が多数あるが、このような商品を返礼品にできないか。また町内施設などにサウナを設置する事で観光にも繋がる。町長がトップセールスとして事業所を巡回し、新しい返礼品の掘り起しはできないのか。

A 総合戦略課長 様々な返礼品の提案に感謝する。今年度、数社を訪問し町長の寄附額獲得への思いも伝えている。企業との強固な信頼関係を築くのも重要と考えているので、積極的に推進していきたい。

Q 議員 他の自治体で花火大会の観覧チケットをふるさと納税返礼品にして25組×20万円で500万の返礼品にしている事例があるが、本町の町民祭のステージも同様に返礼品にはできないか。

A 総合戦略課長 提案は参考になるが町民祭は商工会・JA国富・役場の三者による共催イベントであり、運営体制を踏まえ可能性を検討してみたい。



人気の返礼品完熟マンゴー

性自治体」と公表され人口減少対策が喫緊の課題であり、子育て支援や移住支援も必要と考えるが取組を伺う。

A 町長 具体的には未婚者を減らし出生率を高め町外から移住者の受入れを考える。働く若者定住促進奨励金交付事業や移住支援金の支給、子供の医療費の無償化や保育園第2子までの無料化を実施し「住みたい町国富町」になるよう努める。

Q 議員 国富町独自の魅力ある支援策として森林環境譲与税を基金に積立せずに活用し、新築住宅取得時に町内建築業者を利用する事と県産材を使用する事を条件に上限50万円を補助する取組はできないか。

A 総合戦略課長 移住支援の財源として斬新な視点であるが、(仮称)総合保健福祉センター建設に多額の費用を要

する事から、その財源確保として積立している。

議員 基金に積立するより住宅支援に回し移住者が増えれば町民税や固定資産税、軽自動車税として税収となる。経済を回す事を最優先に森林環境譲与税を貯蓄から投資へ回すよう強く要望する。

Q 議員 土地開発公社が長期保有している4区画の土地を子育て世帯への移住者を対象に町内建築業者での建築条件付きで無償譲渡を行えば税収が生まれ経済が回るが検討はできないか。

A 町長 現在まで全く使われておらず草刈費用が掛かり、処分する時期と考えているが、町の財産であるので価格を下げてでも売却したい。しかし、長期に買い手がつかない状況であり無償譲渡も考える時期ではあるので公社の理事会でしっかり考える。

「人口減少対策」について

Q 議員 本町は「消滅可能

なかむらしげき
中村繁樹 議員が問う

「ふるさと納税寄附目標額10億円の根拠」とは？



こおり かずあき
郡 一 覧 議員が問う

介護予防・健康づくり、町公式LINEでの連絡体制強化

町ぐるみで支える健康づくりと介護予防について

A 保健介護課長 教室は高負荷・標準・低負荷の3パターンに分かれており、年間延べ9269人が参加。中には教室参加後、要介護認定の更新をせずに済んだ方もおり一定の効果ができていると考える。社会教育課と連携し、新たに「はつらつ教室」も開設している。

Q 議員 団塊世代が一斉に後期高齢者となる2025年を迎え、医療制度の限界も見え始めている。本町の高齢者の健康づくりについて、町の方針を伺う。

A 町長 地域の元気を保つには全体的な予防が大事。シニア元氣アップ運動教室を中心に取り組んでおり20地域を33人のサポーターで実施。健康寿命の延伸につなげることを全体方針とし、介護給付費・医療費の抑制に努めたい。

Q 議員 介護予防教室の効果や内容を伺う。

Q 議員 介護予防教室以外の健康講座や交流の機会はあるのか。

A 社会教育課長 生涯学習講座として健康体操やスポーツ教室など25講座を開講し、延べ3300人が参加。「高齢者国富大学」「健康体操教室」「コーススポーツ教室」など、学び・交流・健康をテーマにした講座も展開しており、今後さらに体育施設や団体との連携も進めていく。

議員 以上を受け、「ポピュレーションアプローチ（地域の住民全体を対象に、予防や健康づくりを進める考え方）」の視

点が重要であるとし、町民の個別支援と並行して地域全体の運動習慣を底上げする取組の強化を提案した。



ポピュレーションアプローチの様子（三股町）

町公式LINEの活用と双方向連絡体制強化について

Q 議員 本町で使用されているLINE公式アカウントの活用状況を伺う。



町公式LINE 双方向の活用を！

A 町長 防災やイベント情報の発信に強みがあるがスマホ使用者に限られる。今後はアンケートや申請など、双方向型で使えるコミュニケーションツールとしての機能強化も研究していかなければならないと考えている。

Q 議員 LINEによる利便性向上の具体策を伺う。

A 総合戦略課長 現在、LINE登録者は町内人口の2割程度。災害情報や緊急のお知らせを含め、町政・イベント・各種情報を発信している。施設予約やチャットボット機

能の導入に向けても検討を進めている。

Q 議員 LINE未登録者やスマートフォンではない町民への対応を伺う。

A 総務課長 広報紙や回覧板の紙媒体とも使い分けている。今後誰もがアクセスしやすい情報提供を目指す。

議員 町民にとって分かりやすく、使いやすい情報発信を目指し、LINE機能の拡張や双方向性の強化を通じて、行政とのつながりを深めるためのデジタル施策を要望した。

宮崎西警察署（仮称）の現在の状況と今後の計画について

Q 議員 令和6年3月議会において、具体的な計画の説明があったが、当時の計画通りに進んでいるのか。また、仮に、現在候補地となっていない場所でも売買契約を行った場合、どのような計画で進むのかを伺う。

A 町長 当初計画のとおり、町運動公園内に令和11年3月の完成に向け、進められている。新庁舎には、高岡署のほか県警一ツ葉庁舎に入る自動車警ら隊と交通機動隊もあわせて移転する計画である。進捗状況は、県警察本部による基本構想の策定が終了したところで、現在は、用地補償費

の算定を進めていると伺っている。

用地の売買のスケジュールは、県警から用地補償費の算定に一定の期間を要すると聞いており、土地評価額を含んだ売買契約の町議会議案上程は、現段階において12月議会を見込んでいます。



移転によりなくなる予定の公園

Q 議員 今後の住民説明会の時期と情報開示は。

A 総務課長 稲荷地区や十日町東区を対象に、7月中旬に住民説明会を開く予定で、町民に周知する必要がある内容

については、広報くにとみやホームページなどを活用し、積極的に掲載したいと考えている。

議員 前回の説明会では、資料配布がなかったので、次回には必要に応じて資料の配布を要望する。また、今までの町民に対する町からの回答や対応に不満の声がある。もっと町民に寄り添った対応も併せて要望した。

移転計画が実行された場合の影響と対応について

Q 議員 移転により期待される効果を伺う。

A 総務課長 犯罪抑止や交通事故抑止の期待。事件・事故が起きたときの対応の迅速化、災害時の支援拠点などを想定している。

することでの利便性の向上、町内に働く場ができ、人が増えることでの経済効果を想定している。

Q 議員 これまでの説明会などで住民から寄せられた懸念事項と対応は。

A 総務課長
懸念① 公園・プールがなくなり、子供の遊び場がなくなる。

対応 内部検討の段階ではあるが、公園については、残地にスケールダウンをして残せないか検討している。

懸念② 駐車場がなくなり、これまで行っていた行事などに支障が出る可能性がある。

対応 忠霊塔の前の土地を利用すれば、現在の駐車場の3分の2程度は確保できるのではないかと考えている。

懸念③ 完成後の出入り口付近の交通渋滞が心配だ。

対応 警察署に勤務する職員は、120人程度になると伺っている。県道の改良、信号機など、今後検討する必要がある

と考えている。

懸念④ 24時間勤務による緊急車両などのサイレンなどの騒音、夜間の照明、また、施設建設により日照が遮られるのではないかと心配だ。

対応 このことについては県警も認識をしている。町としても今後最大限の対策をとっていただくよう、引き続き県警に申し入れをしていく。



現平面図



予想平面図

いしやまかずま
石山和真 議員が問う

宮崎西警察署（仮称）移転候補地決定のその後について



近藤智子 議員が問う

町道整備・空き住戸対策・下水道管点検・不審者侵入防止

アリーナくにとみへの避難経路である町道の整備について

Q 議員 町道六日町大脇線の法面は雑木が生い茂り、災害時には崩落し、道路が遮断される恐れがある。整備はできないか。

A 町長 法面整備は、国の制度事業の要件に合わず、町単独事業でしか対応出来ないため多額の費用を要し、財政的にも難しい。

Q 議員 これまでに行っている六日町大脇線の整備は。

A 町長 法面崩壊が発生した際は、災害復旧事業や緊急道路維持補修費で復旧を行っている。また毎年、建設業者のボランティア活動やシルバー人材センターの町道整備維持

管理委託で維持管理を行っている。

Q 議員 通行止め時におけるアリーナくにとみへの避難経路の確保は。

A 都市建設課長 役場北側から県道高鍋高岡線に抜ける谷ノ口大平原線の道路整備が昨年度から事業採択になり整備を進めている。



生い茂る町道六日町大脇線沿いの樹木

サンコープラス国富
定住促進住宅の
空き住戸対策を
図れ

Q 議員 サンコープラス国富の空き住戸が半分以上を占めている、町の対策は。

A 町長 指定管理委託を開始し、専門的な視点での入居者増への取組を行っている。本年度から住環境の整備を行い、入居者募集のチラシの配布を予定している。

Q 議員 住環境の整備とは具体的に。

A 財政課長 今年度は温水洗浄便座の取り付けを予定している。

Q 議員 外国人の実習生や労働者が増えている。定住促進住宅に入居可能か。

A 財政課長 条例により入居者の資格要件がある。4階・5階への外国人単身者は可能であるが、それ以外は条例改正が必要である。



サンコープラス国富の半分以上が空き住戸！入居対策を

下水道管の劣化点検は行っているのか

Q 議員 道路陥没事故を踏まえ、国が「全国特別重点調査」を自治体に要請、本町の調査は。

A 町長 本町は調査の対象外であるが、独自に主要な管渠やマンホールなどについて、巡回目視による点検調査を本

年2月に実施して、異常がないことを確認した。

学校への不審者侵入対策は

Q 議員 小中学校における不審者侵入時の訓練やマニュアルはできているか。

A 教育長 各学校独自のマニュアルを作成している。訓練はマニュアルに則って警察の指導のもと、児童生徒を含めた対応訓練を定期的に実施している。

Q 議員 不審者侵入の抑止力にもつながる防犯カメラの設置については。

A 教育総務課長 防犯カメラは必要とは思いますが、プライバシーに配慮した管理や保護者の理解が必要になると考えている。

認知症予防とフレイル予防を強化し健康寿命延伸を図れ

Q 議員 町長が掲げるシニア元気アップ運動教室を充実強化することで、健康長寿のまちづくりをどう進めていくのか。

A 町長 高齢者の健康寿命を延ばす取組として、介護予防、認知症予防を推進している。介護予防では「シニア元気アップ運動教室」や「ふれあいいきいきサロン」などに取り組み、運動による体力の向上と介護予防の普及啓発を図っている。

さらに、認知症予防に特化した新たな教室を計画しており、日常生活で、支援や介護を必要としない

自立して生活できる健康長寿のまちづくりを推進していきたい。

議員 各地区で参加者の拡充を図り、介護保険料や医療費の抑制につなげるよう要望したい。



アリーナくにとみでのシニア元気アップ教室

日本一高齢者が元気な町づくりで、町を活性化せよ

Q 議員 町長が目指す「日本一高齢者が元気なまちづくり」

くり」のために敬老会の開催と、高齢者クラブ、シルバー人材センターの登録者数を増やし、活性化できないか。

A 町長 敬老会は、高齢者を敬う大切な行事であり、高齢者クラブは、仲間づくりを通して生きがいをつくり、社会貢献を図る場所。さらに、シルバー人材センターは、高齢者の貴重な就労の場であり、やりがいを生み出す場。これらの参加者や登録者数が増え、組織が活性化することは、町の発展に大変重要なこと。現状を分析し、引き続き支援や助言を行っていききたい。

議員 活動の拡充と会員数増加に向けた取組を要望した。

シルバー人材センター入会要件

- ・ 国富町にお住まいの健康な60歳以上の方
 - ・ 働くことに意欲があり、地域の役に立ちたい方
- 【連絡先】国富町シルバー人材センター
電話75-9003

10年後の地域農業の担い手育成を図れ



シルバー人材センターによる町道の草刈り作業

Q 議員 農家の一番の課題は、高齢化や後継者不足による農業人口の減少である。10年後、20年後を見据えた就農支援と担い手確保の取組は。

A 町長 地域の農業を次世代につなげていく計画的な実効性のある取組が求められる。今後は、これまでの支援と

あわせて、新規就農者の経営初期の安定に向け、技術や経営ノウハウの継承を目的とした先輩農業者とのマッチングや、知識・経験に基づき、指導・助言を行うメンター制度の導入。さらに、地域農業の担い手として農業法人の育成支援、異業種からの参入や企業連携により、新たなビジネスモデルの創出を目指していく。

議員 農家の経営の安定と力強い国富町の農業再生を実現できるように、さらなる支援と農業振興に取り組むよう要望した。



岩知野での田植

ひだかひでとし
日高英敏 議員が問う

日本一高齢者が元気な町づくり・10年後の農業振興



たけだ みき
武田幹夫 議員が問う

若者の移住定住で西部地区・八代地区の農村集落を守れ

深年小学校跡地 売却に向けた 進捗状況は

Q 議員 昨年より、深年小学校跡地の売却に向けての進捗状況を伺う。

A 町長 今年3月に住民説明会を行った。様々な意見があり、検討委員会となる地元住民の人数を増員し、意見を幅広く聴取する中で、住民の理解が得られるようであれば、売却に向けて進めたい。

Q 議員 住民説明会で様々な意見が出たということだが内容を伺う。

A 財政課長 15人の参加がありグラウンドを売却したら、災害時の駐車場が不足する。また、子供の遊び場がなくな

るとの意見があった。

議員 グラウンドの一部を残すことで駐車場の件、子どもの遊び場の件も同時に解決できるのではないかと提案した。

Q 議員 仮に、売買できなかった場合の校舎の解体費用は把握しているのか伺う。

A 財政課長 旧中央体育館の取り壊し費用で算定した場合、合概算で7000万円、また、アスベストが確認された場合、約1億円の費用が見込まれる。

議員 昨年12月議会的一般質問で、購入したい事業所があるというが、解体費用を考えると売却できるうちに、売却した方がよいのではと思う。売却後に企業進出など考えられる。地域集落の活性化、雇用の創出、また、町の財政健全化にもつながる対応を要望した。



旧深年小学校跡地

※1 西部地区・八代地区への若者の移住定住対策は

Q 議員 西部地区・八代地区への若者の移住定住対策は喫緊の課題である。

町長 移住定住など人口減少対策をどのように進めるのか町長の考えを伺う。

A 町長 移住定住対策は町全体の課題である。

町では、働く若者定住促進奨励金事業を実施しており、

事業効果を見極めながら地域を意識した移住定住人口減少対策が可能か、さらに研究を進めたい。

Q 議員 人口減少対策で様々な定住促進事業を講じたが、その実績と効果、また、どのような課題に直面したのか。

A 総合戦略課長 平成30年度から令和6年度までの累計で190件590人の成果となっている。

アンケートの結果、住宅メーカーや工務店が町外の割合が多く、経済効果が低かった。

Q 議員 町内62地区で小学校入学前の0歳から6歳までの子供の人数が10人以下の地区を伺う。

A 町民生活課長 令和7年6月1日現在で62区のうち40区が該当する。そのうち西部地区は6区中4区、八代地区は26区中24区が該当する。

Q 議員 西部地区でも少子

化が進んでいる。森永小学校の5年後の全校生徒数を伺う。

A 教育総務課長 5年後、令和12年度は住民基本台帳に登録されている児童数からの推計で61人になる予定である。

Q 議員 西部地区・八代地区の概要を説明したが、西部・八代地区に特化した事業の考えはないのか伺う。

A 総合戦略課長 移住定住、人口減少対策は厳しい道のりである。町民の意見、移住希望者のニーズを把握しながら取り組む。

議員 西部地区・八代地区には農村集落が点在する。食料の安全や農家の土地建物を守るためにも、農村集落への若者の移住定住促進を図るよう要望した。

※1 西部地区：森永、竹田、向高、飯盛、須志田東、須志田西の6区をいう。

災害時に誰ひとり取り残されない町づくり

Q 議員 町民への防災意識普及や防災意識高揚のために取り組んでいることを伺う。

A 町長 災害危険箇所総点検をはじめ、防災訓練、講習、自主防災組織や防災士の育成、消防団や消防設備などの充実、町民の防災意識向上のための啓発などを実施している。

また、河川の整備、河道の掘削、避難所での物資などの備蓄、公共施設や住宅の耐震診断及び耐震化などを展開して実効性のある災害対策に取り組んでいきたい。

Q 議員 11月に実施した防災研修会の内容を伺う。

A 総務課長 11月4日にアリーナくにとみで実施し、前半は区長や自主防災組織代表などを対象に防災講話を、後半は避難所運営訓練などを実施した。同日に県主催の物資輸送訓練も併せて行い、参加者は60人程度であった。

Q 議員 参加者60人程度のうち女性は何人くらい参加していたのか。

A 総務課長 5、6人の参加があった。

議員 今後は防災訓練などに女性の参加が多くなるように対策を講じてもらいたい。また、災害によって、町民の財産や最悪、命がなくなることのないように、防災対策はスピード感をもって取り組むよう要望した。

Q 議員 災害情報は聴覚障がい者、視覚障がい者、町内に住む外国人に配慮したものであるかを伺う。

A 総務課長 防災情報メール、ホームページは文字で伝え、戸別受信機は音声で発信している。現在、避難行動要支援者に対する個別避難計画の作成に着手している。聴覚や視覚に障がいを持つ方で個別避難計画の希望があれば対応したい。外国人向けの特別な伝達手段は今のところ整備をしていない。

議員 災害情報の発信は非常に大事である。災害は命にも関わることから、誰にでも届くように努めることを求める。

災害時も女性の権利を守れ

Q 議員 女性の視点を取り入れた避難所運営の取組について伺う。

A 町長 女性の視点に配慮した避難所運営のため、生理用品や紙おむつ、乳児用ミルクの備蓄、パーテーションや

簡易テントの準備、避難所への女性職員の配置、女性消防団の育成などに取り組んでいる。避難所は、衛生面やプライバシーの問題で心身に過度な負担がかかる。日頃から、男女共同参画の視点を多様な場面で見守り、ジェンダー平等を保つておくことが大切と考える。

議員 避難所においてプライバシーの確保は避難所の基本の「き」。男女問わず複数個所の設置を要望した。

投票に行きたくてもいけない、行く手段がない

Q 議員 投票環境の向上対策について伺う。

A 選挙管理委員会委員長 高齢者を含む全ての有権者が、投票しやすい環境づくりに努めている。車椅子を準備するほか、視覚・聴覚に障がいを持

つ方が投票できる体制を整え、多様な有権者のニーズにこたえる努力をしている。期日前投票に限るが、デマンド型乗合タクシーや社協で無料の送迎サービスも実施している。今後さらに高齢化が進む中、高齢者が安心して投票できる環境づくりをさらに推進する。

Q 議員 現在の移動支援の他に対策を考えているのかを伺う。

A 総務課長 現時点では、期日前投票で、なるべくデマンド乗合タクシーなどを利用してもらうしかないと考えている。

議員 投票は社会参加の一つ。「選挙に行った」ということが本人の喜びや自信につながると思う。投票したいと願う人が投票できる方法を前向きに進めるよう要望した。



井戸川紀代子

議員が問う

防災行政

女性目線の避難所運営

投票環境の向上



自治会への未加入者が急増、加入促進を！

Q 議員 各自治会においては、高齢者の離脱や移住者などの若い世代の未加入者が増加している、加入率と加入促進について伺う。

A 町長 現在の加入率は、約73%になる。加入促進策としては、窓口へ転入届の際、「加入へお願い」チラシ配布や「働く若者定住促進奨励金」制度では、区への加入を要件としている。

Q 議員 木脇周辺8区への聞き取り調査によると、加入率51%以下の地区が3地区存在する。極めて深刻な状況である。未加入世帯を対象に、行政の支援により、地区ごと

に加入促進の説明会を実施できないか。

A 総務課長 未加入者の増加は、自治会や行政にとっても大きな課題である。加入促進の説明をすることは大変重要なことだと認識している。

高齢者クラブの組織拡充を求める

Q 議員 高齢者クラブは地域に根ざして生きがいと健康づくりに努められており、明るく元気なまちづくりに寄与できる組織である。そのような貴重な組織をさらに拡充すべきと考えるが、町の見解は。

A 町長 高齢者クラブは、欠くことのできない大切な存在である。引き続き社会福祉協議会などと連携し、積極的な支援を行いながら組織の拡充及び活動の活発化に努める。

Q 議員 高齢者人口は年々

増加し、2043年にピークを迎えるとの予測がある。本町の高齢化率の状況について伺う。

A 福祉課長 令和6年10月1日現在の高齢化率は、人口1万7603人に対して、高齢者人口が6967人の高齢化率39.6%である。県平均の34.0%と比較して5.6ポイント高い状況である。



元気ハツラツ！グラウンドゴルフ



平原ふれあいいきいきサロン ふるまい料理づくり

ふれあいいきいきサロンの拡充を進めよ

Q 議員 ふれあいいきいきサロンは、地域での孤立、閉じこもり防止、健康・いきがいづくり、地域住民との交流や仲間づくりを目的に活動されている。活動状況及び担い手不足についての支援策を伺う。

A 町長 サロン数は、24ヶ所、会員数398人で減少

傾向にある。活動内容は、茶話会、料理教室、創作活動、子供会との交流などがある。また、担い手不足に対する支援策としては、サロンの立ち上げから、年間計画の作成や助成金交付の事務の支援などに取り組んでいる。

フースト1位からの脱出を図れ

Q 議員 本町の交通事故状況は、昨年も県内でフースト1位であり、大変憂慮すべき状態である。本町独自の改善策を伺う。

A 町長 関係機関・団体及び町民の協力を得ながら啓発活動を行っている。新たな取組として、うずら車をプリントしたのぼり旗を作成中である。また、各家庭や事業所にステッカー貼付や事故発生状況の掲示は、有効な手段だと考えている。

第1回臨時会

令和7年第1回臨時会を5月12日に開催し、正副議長の選出、専決処分の承認及び人事案件の同意が行われ、同日閉会しました。また、4つの委員会の構成替えも行われ、新たな委員が決定しました。

議長 穂 寄 満 弘氏（67歳）2期目



選挙の結果、当選

〔主な経歴〕

- ・文教産業常任副委員長
- ・副議長

【議長就任のご挨拶】

5月12日の初議会において、議長に選出していただきました。

まず初めに、これまでの議会活動において多大なるご尽力をいただきました前渡邊議長をはじめ、議員の皆様、そして町民の皆様に深く感謝申し上げます。

私の議長としての使命は、町民の皆様の声をしっかりと受け止め、地域の発展に寄与するための政策を推進することです。そして、私の行動力を生かし、何事にも全力で取り組んでまいります。今回の町議選では、4人の新人議員が誕生し、町民の皆様から大きな期待が寄せられています。この国富町が直面する課題は、農業を取り巻く諸問題や経済の活性化など解決すべき課題は多岐にわたります。

これらの課題に対して、議会として一丸となり、知恵を絞り、行動していく所存です。

今後とも皆様のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

副議長 近 藤 智 子氏（68歳）4期目



選出方法 指名推薦

〔主な経歴〕

- ・総務厚生常任委員長
- ・議会運営委員長

【副議長就任のご挨拶】

このたび、国富町議会副議長を拝命しました近藤智子です。

微力ではありますが、町民の皆様のお声に耳を傾け、誠心誠意努めてまいります。

国富町は、豊かな自然と温かい人々に恵まれた魅力あふれる素晴らしい町です。国富町に住んでよかったと思える町に、次の世代へしっかりとつないでいくためにも町政の発展と地域の課題に真剣に取り組んでまいります。

今後とも皆さまの変わらぬご支援とご協力を賜りますように心よりお願い申し上げます。

各 委 員 会



議会運営委員会
委員長 谷口 勝 氏



文教産業常任委員会
広報特別委員会
委員長 日高英敏 氏



総務厚生常任委員会
委員長 中村繁樹 氏

文教産業常任委員会

委員長	日 高 英 敏
副委員長	井戸川 紀代子
委 員	石 山 和 真
委 員	山 内 千 秋
委 員	武 田 幹 夫
委 員	河 野 憲 次
委 員	穂 寄 満 弘

(所管課・所)教育総務課、社会教育課、
学校給食共同調理場、農林振興課、
農地整備課、都市建設課、上下水道課

総務厚生常任委員会

委員長	中 村 繁 樹
副委員長	郡 一 寛
委 員	竹 田 貫 紀
委 員	渡 邊 静 男
委 員	谷 口 勝
委 員	近 藤 智 子

(所管課)総務課、総合戦略課、財政課、
税務課、保健介護課、福祉課、町民生活課、
会計課

広報特別委員会

委員長	日 高 英 敏
副委員長	竹 田 貫 紀
委 員	井戸川 紀代子
委 員	郡 一 寛
委 員	石 山 和 真
委 員	中 村 繁 樹

(所管事務)
議会だよりの編集・作成、議会デジタル化等

議会運営委員会

委員長	谷 口 勝
副委員長	武 田 幹 夫
委 員	山 内 千 秋
委 員	渡 邊 静 男
委 員	河 野 憲 次
委 員	近 藤 智 子

(所管事務)
議会の運営、会議の進め方など

承認

〔専決処分〕

◇専決処分（国富町税条例の一部を改正する条例）について

新基準の原付バイク
税額2000円

〔主な内容〕

令和7年度から、二輪車のうち総排気量が125cc以下かつ最高出力が4.0KW以下のものに対して、税額を2000円に設定する改正。

全員賛成

承認

◇専決処分（国富町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）について

課税限度額引き上げ

〔主な内容〕

国富町国民健康保険税のうち、「基礎課税分」の課税限度額を現行より1万円、「後期高齢者支援金等課税分」の課税限度額を現行より2万円引き上げ。

全員賛成

承認

同意

◇固定資産評価員の選任につき議会の同意を求めることについて

固定資産評価員に

長友正登志氏を選任

〔主な内容〕

人事異動に伴い、津留慎義氏の後任に税務課長の長友正登志氏を選任。

全員賛成

同意

◇監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて

議会選出監査委員に

山内千秋氏を選任

〔主な内容〕

令和7年5月9日をもって任期満了となった河野憲次氏の後任として、山内千秋氏を選任。

全員賛成

同意



山内千秋氏
(75歳・3期目)

主な経歴

・文教産業常任委員会委員長
・議会運営委員会副委員長

新議員の信条と抱負を紹介します。

(議席番号順・年齢は5月12日現在)

NEW



井戸川 紀代子 議員
1期目・68歳・尾園

町民の皆さまお一人おひとりの「思いや考え」に耳を傾け、その声が活かされる町づくりに取り組みます。

NEW



小おり かずあき 議員
1期目・49歳・宮王丸

学びながら動く、動きながら考える。それが私のスタイルです。町の元気をアイデアと行動で引き出します。

NEW



たけだ ひろのり 議員
1期目・33歳・森永

最年少議員として、スピード溢れる行動力を持ち、一番身近な議員として町民の声を町政にお届け致します。

NEW



いしやま かずま 議員
1期目・42歳・十日町東

町政への関心を持ってもらえるような活動、児童福祉の環境向上、歴史ある国富町のPR活動を柱に邁進します。



なかむら しげき 議員
2期目・51歳・六日町

2期目も何事にもスピード感を持って対応し、議会が行政のチェック機能を果たす役割に努めていきます。



ひだか ひでとし 議員
2期目・63歳・岩知野

町民の皆さまの期待に応えられるように、しっかりと努力してまいります。くにとみを元気に！



やまうち ちあき 議員
3期目・75歳・上床

活力ある農工商業、障がい者や高齢者の福祉の充実、子ども達に夢のある町づくりなど誠心誠意取り組みます。



たけだ みきお 議員
3期目・67歳・飯盛

国富町の未来のためには「農村集落の活性化対策」、国の事業導入で、町の未来のためにがんばります。



わたなべ しずお 議員
4期目・77歳・平原

更なる町民福祉の向上と明るく元気な町づくりのため、議会活性化と開かれた分かりやすい議会を推進します。



かわの けんじ 議員
8期目・74歳・嵐田

初心を忘れず、誠実さをもって、確実に一つ一つ行政に伝えていきます。



たにぐち まさる 議員
2期目・67歳・三名

町民が希望を持ち安心して生活ができるように皆様の声をよく聴き、問題の解決に全力で取り組みます。



こんどう ともこ 議員
4期目・68歳・六日町

一人のために、みんなのために、を信条に「国富町に住んでよかったと思える町づくり」をめざして参ります。



ほよせ みつひろ 議員
2期目・67歳・永田

若者に活力を！子供たちに夢を！お年寄りに笑顔を！町民の皆さまの要望にしっかりと取り組んで参ります。

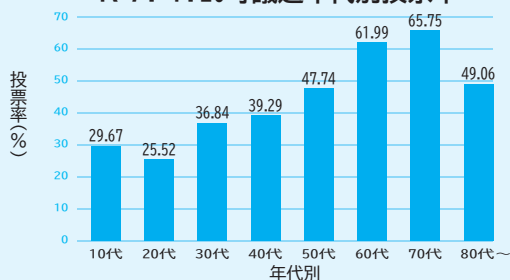
4月の町議選を振り返って

4月に町議選があり、13名の議員が決まりました。4人の新人議員が当選し、議員の平均年齢も前回の64.9歳から61.6歳へと若返りました。しかしながら、投票率は過去最低の50.23%（前回R3町議選57.8%）でした。

選挙は、町民の皆様が自らの意見を反映させる貴重な機会であり、町に声を届ける代弁者を選ぶ重要な手段です。

周囲の方々にも投票の重要性を伝え、一緒に行動することで、地域社会の未来をより良いものにしていきましょう。

R7.4.20町議選年代別投票率



議会だより意見箱



より良い議会だより、まちづくりのために皆さんの意見をお聞かせください。

意見は、グーグルフォームで受け付けます。右のコードを読み取り、入力してください。



次の定例会は

9月5日開会予定です！

お気軽に**傍聴に来てください。**

問い合わせ先：議会事務局 75-3111(内線282)

議会の動き

令和7年7月2日から
令和7年9月5日まで

7月2日	○町議会議員と商工会との懇談会
8日	○法華嶽キャンプ場安全祈願祭
11日	○広報特別委員会
12日	○町消防団夏季訓練大会
13日	○第8回ニジマス釣り教室
18日	○高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会総会 ○宮崎県鉄道整備促進期成同盟会総会
23日	○議会運営委員会正・副委員長研修会
25日	○東諸支部消防操法大会
27日	○第38回国富町ふれあい短歌大会
30日	○国富町都市計画審議会
8月8日	○県町村議会正・副議長会研修会 ○地方行政問題協議会
26日	○森林・林業活性化議員連盟役員会・総会
9月3日	○議会運営委員会
5日	○第3回定例会

今回の議会傍聴者延べ人数

65人

編集後記

4月の町議会議員選挙から早3か月が過ぎました。議会だよりの編集に携わる広報特別委員6人のうち今回から新人議員4人が加わりました。6月定例会では8人の議員が一般質問を行いました。町民の代弁者として3人の新人議員も登壇しました。多くの方に足を運んで頂き、議会に興味を持って頂きました。より一層多くの方に町政への理解、町政への関心を高めてもらいたいものです。皆様に最も身近な議会の広報紙として「伝わる」ように「伝える」工夫をして参ります。皆様の声が原動力になります。ご意見・ご要望などお気軽にお寄せ頂きますと幸いです。今後とも議会だよりをよろしくお願いいたします。最後に、今年は70年ぶりの6月での梅雨明けで猛暑の日々が続いております。日頃よりこまめな水分補給を行い、熱中症にお気をつけください。(貫紀)

広報特別委員会
委員長 日高英敏
副委員長 竹田貴紀
委員 井戸川紀代子
委員 郡 一
委員 石山 繁樹
委員 中村 繁樹